

クイック リファレンス ガイド

Cisco TelePresence システム EX60 TC5.1



名前、番号、またはアドレスを使用した発信

① 【発信】をタップします



② 【検索またはダイヤル】フィールドをタップします(①)



③ をタップします



タップすると、仮想キーボードが表示されます。QWERTY キーボードに切り替えるには **[ABC]** をタップし、数値キーボードに切り替えるには **[123]** をタップします。名前、番号、またはアドレスを入力します。

履歴の使用

【履歴】には、前回リストがクリアされて以降の着信、発信、不在着信が一覧表示されます。

【履歴】をタップすると、リストが表示されます...



... 次にエントリをタップします。

この後、次のことを実行できます。

- ・【発信】をタップすると、このエントリに発信できます。
- ・**オプション機能:** このエントリを追加して、合計 3 人の参加者 (あなた自身も含めて) によるビデオ会議を作成できます。
- ・このエントリを **【お気に入り】** として追加できます。
- ・エントリ情報を編集してから、発信できます。
- ・帯域のデフォルト設定を変更できます。
- ・このエントリをリストから削除できます。
- ・リスト全体をクリアできます (別のページを参照)。

ディレクトリを使用

【ディレクトリ】は会社の電話帳として機能します。このディレクトリは、ユーザーは編集できません。ただし、エントリをお気に入りのリストにコピーして、そこで編集することはできます。

【連絡先】 (必要な場合) をタップし、【ディレクトリ】をタップします。通常、ディレクトリはフォルダとして構成されています。



フォルダをタップ (①) してその内容を表示し、必要に応じてスクロール (②) して、フォルダ内のフォルダやエントリを見つけます。

履歴リストの場合と同様にエントリを使用できます。

お気に入りの使用

【お気に入り】は、よく通話する連絡先、あるいは、簡単にアクセスできるようにしたい連絡先の候補者リストです。

誰かを **【お気に入り】** に追加するには、その人 (または場所) を **【ディレクトリ】** または **【履歴】** で見つけて、そのエントリをタップします (①)。ダイアログボックスが表示され、**【お気に入りに追加】** をタップできます (②)。



このとき、必要に応じてエントリを編集できます。フィールドをタップすると、キーボードが表示されます。**【保存】** をタップし、変更を有効にします。



検索

エントリ (数字または URI) は検索することができます。検索はすべてのフォルダ内、つまり、**【お気に入り】**、**【ディレクトリ】**、**【履歴】** 内を対象に実行されます。

【検索またはダイヤル】フィールドをタップし、名前、URI、または番号を入力します。検索対象と一致する項目が表示されます。

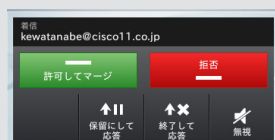


エントリを見つけたら、タップして発信、編集、またはお気に入りのリストへの追加を行います。

注意: 企業ディレクトリ内で検索を実行する場合、検索対象は現在のディレクトリ フォルダとそのサブフォルダのみに限られます。1 つ上のレベルに移動するには、**【戻る】** をタップします。検索対象を企業ディレクトリ全体にするには、検索の開始前にフォルダを入力 (タップ) しないでください。

参加と転送

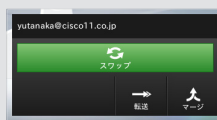
通話中に別の相手から電話がかかってきたとします。



着信を許可して現在の通話を保留にするか、着信を許可して現在の通話を終了するか、着信を拒否するか、または着信を無視することができます。

保留にした場合、**【再開】** をタップすると、次のいずれかを実行できます。

- ・ **【スワップ】** をタップして、代わりに他の通話を保留にします。
- ・ **【転送】** をタップして、保留中の通話を別の人間に転送します。
- ・ **【マージ】** をタップして、保留中の相手を現在の通話に含めます。その場合、その通話が会議に変更されるか、すでに進行中の会議の人数が増えます。これはオプション機能です。



【マージ】機能を使って会議を設定している場合は、会議が終了した時点で、各参加者が自分の機器を自ら切断する必要があります。

プレゼンテーションの共有

通話中に、ビデオ システムに接続したソースを共有することができます。

ソースを共有するには、ソースが接続されていて、アクティブであることを確認します。そうでない場合、**【プレゼンテーション】** ボタンは表示されません。

【プレゼンテーション】 (①) をタップします。次に **【表示】** (②) をタップして、コンテンツの共有を開始します。



コンテンツの共有を停止するには、**【表示】**、**【表示の停止】** の順にタップします。

自画面とカメラ操作

画面上で自分がどのように表示されるかを確認するには、**【自画面】**アイコン(①)をタップします。調整が必要な場合は、**【その他】**(②)、**【カメラのフォーカス】**(③)の順にタップします。



カメラを傾けて、表示具合を調整します。

ヒント: カメラをテーブルトップの方向に向けて傾けると、ドキュメント用カメラとして使用できます。画像の上下が自動的に反転して補正されます。

履歴のクリア

【履歴】をクリアするには、リストの上部が表示されるよう下にスクロールします(図を参照)。

【リストのクリア】ボタンが表示されます。



サウンド

必要に応じて、プライバシー上の理由からマイクを無効にすることができます(①)。

図のようにタップして(②)、音量を調整します。



詳細については完全版のユーザーガイドをご確認ください。別途ダウンロードできます。

タッチトーン (DTMF)

通信中にタッチトーン (DTMF) の入力を求められることがあります。これは通常、内線に連絡するためか、暗証番号コードを入力するためです。**【タッチトーン】**をタップします。



通話しながら**【タッチトーン】**をタップします(①)。

タッチトーン キーパッドを使用します(②)。終了したら、パッド以外の任意の場所をタップして終了します。

着信拒否

【着信拒否】に設定されている場合、着信音は消音されます。設定を無効にすると、それまでの着信は不在着信として表示されます。ただし、こちらから発信することは可能です。この機能を有効にするには、左上隅にあるアイコンを押します。もう一度押すと、無効になります。



また、**【表示しない】**をタップして、**【着信拒否】**ポスターを非表示にすることもできます。

着信音とサウンド

着信音とサウンドを設定するには、**【その他】**(①)、**【設定】**(②)の順にタップします。次に、**【着信音とサウンドの設定】**(③)をタップします。



【キートーン】を**【オン】**または**【オフ】**に設定し、着信音量を設定して、好きな着信音を選択します。**【終了】**をタップして戻ります。

メモ: